

⑩ Int. Cl.

E 04 F 15/02
15/04
15/16

識別記号

G
B
F
E

庁内整理番号

7805-2E
7805-2E
7805-2E
7805-2E

⑩ 公開 平成3年(1991)7月23日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑩ 発明の名称 置敷き床材

⑩ 特 願 平1-306911

⑩ 出 願 平1(1989)11月27日

⑩ 発 明 者 林 守 男
⑩ 発 明 者 山 崎 清 好
⑩ 発 明 者 峰 岸 康 之
⑩ 出 願 人 松下電工株式会社
⑩ 代 理 人 弁理士 石田 長七

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
外2名

明 細 書

1. 発明の名称

置敷き床材

2. 特許請求の範囲

(1) 床下地面上に置敷きされる置敷き床材であって、柔軟性を有するシート状の合成樹脂成形品製の基材の表面に薄い木質化粧板が積層され、基材の一側面に嵌合突部が形成され、他側面に嵌合突部が嵌合することが出来る嵌合凹所が形成され、嵌合突部と嵌合凹所との一方に放止の突部が形成され、他方に放止の突部が挿入して放止めを因る放止め凹所が形成されて成ることを特徴とする置敷き床材。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、モルタル、コンクリート等により仕上げられた床下地上に直接に敷設される置敷き床材に関し、詳しくは木質の表面を有しながら、木質系における反りを回避し、脆み性も付与し、か

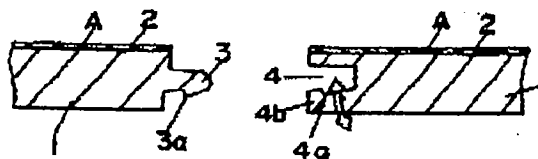
かる構成のものを作成容易に得るとともに、その施工において放止めを行う放止め構成も容易に形成しようとする技術に係るものである。

〔従来の技術〕

従来から、モルタル、コンクリート等により仕上げられた床下地上に敷設される木質床材は知られている。例えば、第1図に示す如く、木質化粧板1aの表面に複数個の溝bを並設し、同表面にクッション材cを貼着してなる木質床材Aaが知られている。ところでこのような木質床材Aaは、床下地上に接着あるいは釘打ち施工等により固定されて敷設施工されるものであり、溝bとクッション材cによって、防音効果を得られるものである。しかしながら、このような木質床材Aaにおいては、溝bが設けられているものの、木質化粧板1aには周面柔軟性がなく、充分な周面柔軟性を得るために、溝bの並設個数を増やしたりあるいは溝bの深さを深く形成した場合には、溝bに対応して木質化粧板2の表面に亀裂が発生し、強度及び表面美観上問題となるものであ

- 1—基材
- 2—水素化酸塩
- 3—鍍金膜層
- 2a—鍍止の突部
- 4—鍍金凹部
- 4a—鍍止の凹部

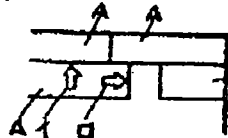
第1図



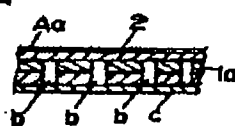
第2図



第3図



第4図



第5図

